

2. 2 駐車場

◆設計の考え方◆

- ・高齢者・障害者等が自動車を利用して外出する機会が増えている。高齢者・障害者等の社会参加を促進する上で、自動車は有効な移動手段である。このため、建築物を設計する際には、駐車場の安全性や利用のしやすさに配慮していくことが重要である。
- ・車いす使用者への配慮として、駐車施設は、建築物の出入口に到達しやすいところに設けるとともに、車いす使用者が安全に乗り降りできるスペースを確保し、分かりやすい表示を設置することが重要である。
- ・車いす使用者以外にも、上・下肢障害者や妊婦、けが人、乳幼児連れの人等もできるだけ建物入口に近い位置に駐車を必要としていることに配慮し、車いす使用者用に準ずる位置にスペースを確保することが求められる。

